

# [ 熊本 S.J.C.D.例会 抄録 ]

演 題 顎位の模索とプロビジョナル

レストレーションによる評価を再考する

演者名 佐藤 俊一郎

日 付 2011年11月22日(火)

Key word 「診断と治療計画」  
「顎位の模索」  
「プロビジョナルレストレーションによる評価」

## 抄 録

最近、CT、マイクロスコープ、CAD/CAM など、最新機器を使用した高度な歯科医療が定着し、今後ますます広がっていくものと思います。

ただ、歯科という医療である以上、診断が最も重要なことは言うまでもなく、それは50年前も、どんなに技術が進歩した現在でも変わりはありません。

そして、私は良い治療結果をもたらすために診断と共に重要なことが、プロビジョナルレストレーションによる評価だと思っています。

まだまだ未熟な自分の診断や技術を、ファイナルレストレーションに移行する前にチェック出来る最後のステップということで、当院でも以前から力を入れて取り組んできました。

今回、顎位の模索に苦慮した症例で、プロビジョナルレストレーションの重要性を改めて認識させられました。症例を通して、私の顎位の考え方や、プロビジョナルレストレーションへのステップを見ていただき、多くの先生方からご教示いただければ幸いです。

以 上